



国分寺市環境ひろば 代表

東京都国分寺市 りゅうじん みずほ 龍神 瑞穂 さん

**Q** 差し支えなければ、年齢と出身地を教えてください。

**A** 気がつけばいつしか後期高齢者、終活も急がねばと思いつつ、忙しく過ごしています。

生まれは神戸、長ずるにおよび東京といったところです。ルーツは和歌山、龍神の名も地名に由来します。現在は田辺市に編入されていますが、日本有数の梅の産地、南部から日高川をさかのぼったあたりが龍神村、さらにさかのぼると日本3美人の湯で知られる龍神温泉が、北方には紀伊半島の最高峰「龍神岳」があります。

**Q** ごみ問題に関心をもつようになったのは何故ですか？

**A** リタイヤ後、国分寺市の環境ワークショップに参加、環境基本条例、環境基本計画の素案づくりに深く関わりました。

そこで、大量生産、大量消費、大量廃棄といった社会の流れのど真ん中で生きてきた世代として、その影の部分、公害や、ごみ、資源・エネルギーなど深刻な問題を孕んでいることを改めて気づかされたのがきっかけです。

**Q** ごみ・環境ビジョン21に入会して下さったきっかけは？

**A** 先述の国分寺市の環境ワークショップでごみかん代表の田浪さんと出会い、そのご縁で入会させていただきました。

田浪さんとは、その後、環境基本条例、環境基本計画に基づいて設置された「国分寺市環境ひろば」でもご一緒しており、もう長いお付き合いです。

なお「環境ひろば」は、“環境について市民・事業者・市が一堂に会して意見交換する場”で毎月1回開催されています。

「ごみ・環境ビジョン21」の会員となって、ごみっと・SUNや市民ごみ大学セミナーで学ばせていただいているほか、見学会参加の機会もいただき感謝しています。

**Q** ごみ問題に関すること以外に、趣味や生きがいは何ですか？

**A** 趣味はいろいろ手を染めています。二つほどあげるとすれば陶芸と俳句になります。

陶芸は、幼少期の泥んこ遊びにも通じるものがあり、癒し効果もある一方、間口も広く、奥行きも深く、楽しんでいます。

障害者センターの講師も引き受け、障害を持つ人たちのお相手も務めています。

俳句も、毎月締め切りに追われながらも楽しく続けています。まちを歩いても、旅行をしても、俳句的観察眼が養われ、季節の移ろい、四季折々の花や鳥たち、命あるものへの愛おしさなど、世界の広がりを感じています。「草の花」の同人です。

**Q** 特筆すべき近況があれば、教えてください。

**A** 恋ヶ窪用水復元、コンクリート三面張りの野川（国分寺部分）の自然河川化の促進、姿見



の池での蛍の復活など、諸々の活動に参加していますが、昨年あかごめから赤米の栽培にも取り組んでいます。

この赤米は、国分寺市（東恋ヶ窪）の畑で栽培されていたのが偶然発見された野生種に近い原始的なイネで（在来品種であるジャポニカ種赤米イネの可能性が高い）、神饌用に西日本の3箇所（総社市、種子島、対馬）でしか栽培されていない貴重な種とされ、「武蔵国分寺種赤米」と命名されています。

今年も、史跡武蔵国分寺跡近くの市有地での栽培を計画しています。

また近々には、小学校での環境学習として「ヤゴ救出作戦」も予定しています。

**Q** ごみかんに期待したいこと、あるいは提案したいことをお聞かせください。

**A** 燃やさない、埋め立てない、究極のごみ減量に向け、国や地方自治体への提言や市民への啓発などこれまで同様、着実に歩いて行っていただきたいと思っています。

自分としても、ささやかでもできることから実行し、市にも提言していくつもりです。